



『畠山重忠ゆかりの地を歩く』

日 時：令和4年6月10日(金曜日) 9時30分受付 10時出発

集合場所：相鉄線 鶴ヶ峰駅 改札口前

コース案内：駅→ 鎧橋 → 首洗いの井戸・首塚 → 畠山重忠公碑 → 六ツ塚・薬王寺霊堂 → 駕籠塚→白根地区センター→白糸の滝→白根不動尊→帷子川親水緑道(解散)

ポイント	ガイド概要
鎧橋	旧鎌倉道が帷子川を渡る場所で、川幅が広く武士が頭に鎧を載せて渡ったことからこの名称がついた(鎧の渡し、越ッ場(こしっぱ))
首洗いの井戸	昔は河原に直径1mほどの穴があり水が湧いていたようです。ここで重忠の首を洗い清め、総大将北条義時に献じた。
首塚	ここで重忠は弓の名手愛甲三郎季隆の射った矢に命中し首を切られた。
畠山重忠公碑	昭和30年(1955)6月22日重忠公没後750年を記念して地元鶴ヶ峰と生誕地埼玉県川本村(現深谷市)の有志により建立された。
逆さ矢竹	重忠が死ぬ直前に「我が正しければ、この矢に枝葉を生じ繁茂せよ」といい二本の矢を地面に突きさした。毎年二本ずつ増え茂り続けたといわれている。
六ツ塚 薬王寺霊堂	畠山重忠をはじめ、一族郎党134騎を6か所に埋葬したと伝えられる六ツ塚跡がある。霊堂がある薬師堂では毎年6月22日には、ゆかりのある方々が参列して慰霊祭が行われている。
駕籠塚	重忠の内室「菊の前」は合戦の報を受け急ぎ駆けつけたが、この場所で重忠の死の知らせを聞いて、悲しんで駕籠の中で自害した。遺体は駕籠ごとこの場所に埋葬。
防人の歌碑	わかゆきの息つくしかは足柄の 峰はほ雲を見とと偲ぶはね 服部於由(おゆ) わかせなを筑紫へやりて愛しみ 帯は解かなゝあやにかもねも 服部皆女(あため)
白根不動尊	源義家が兜に不動明王を納めて戦った前九年の役に勝利して、その不動明王を祀ったのが成願寺の起源。明治の初め神仏分離で上が白根神社、下が白根不動尊に分離。
帷子川	旭区で生まれ横浜を西から東に流れる全長17kmの二級河川で、治水工事で直線化した。以前は蛇行が激しく集中豪雨や高潮の時にたびたび氾濫し、暴れ川と呼ばれていた。
帷子川 親水緑道	「水と緑と歴史のプロムナード事業」として整備された。地形や自然、全長600mの水の流れは渓谷風景のようだ。昭和63年完成。国土交通省の「都市景観大賞」(美しいまちなみ特別賞)を受賞。

万一事故が発生した場合、主催者は保険に加入している範囲以内及び応急処置以外の責任は負いません。

主催 一般財団法人 神奈川県教育福祉振興会
協力 NPO 法人 横浜シティガイド協会

R4. 6. 10 ガイドと神奈川近郊を歩く (鶴ヶ峰)



01出発.JPG



02案内.JPG



03首洗いの井戸.JPG



04首塚.JPG



05公碑.JPG



06公碑.JPG



07六ツ塚.JPG



08駕籠塚.JPG



09帷子川.JPG



10白糸の滝.JPG



11白根神社.JPG



12帷子川親水緑道.JPG



13帷子川親水緑道.JPG



14帷子川親水緑道.JPG